



新国立劇場



新国立劇場 2018/2019 シーズンオペラ
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ドン・ジョヴァンニ Don Giovanni

2019 年 5 月 17 日(金)~26 日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 2019 年 1 月 5 日(土)発売



新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』2014 年公演より 撮影:寺司正彦

モーツァルトが鮮やかに描いた稀代のプレイボーイ、ドン・ファン物語

人々を魅了してやまない稀代のプレイボーイ、ドン・ジョヴァンニの華麗なる恋の遍歴と衝撃的な最期を描いた、モーツァルトの人気作。娘を誘惑してその父親を殺し、石像として現れた父親の幽霊に地獄へ連れていかれる伝説の色事師“ドン・ファン伝説”をもとにした、劇的で疾走感に満ちた展開のオペラです。デモーニッシュな魅力あふれる主人公と憎めない性格の従者レポレロ、対する女性達の数々の美しいアリアで綴られ、石像との息詰まる対決とそれに続くラストの地獄落ちは、圧巻のクライマックスです。

ウリヴィエーリ、脇園彩、ケルケジ、ガテルなど魅力的なキャストが集結

タイトルロールに迎えるのは、色気ある歌声が魅力的なベテランイタリア人バス、ニコラ・ウリヴィエーリ。女声陣には、ミラノ・スカラ座を振り出しにイタリア中の歌劇場を席巻している脇園彩が新国立劇場初登場、フレッシュな美声で急成長中のマリゴーナ・ケルケジなど、伸び盛りの若手が揃いました。レポレロには、長年世界の歌劇場で活躍しているジョヴァンニ・フルラネット、ドン・オッターヴィオは、ベルカントの諸役で注目を集めているファン・フランシスコ・ガテルが登場します。

< 資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ >

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

モーツァルトが鮮やかに描いた稀代のプレイボーイ、ドン・ファンの物語

プレイボーイの代名詞ともなった伝説の色男ドン・ファン(Don Juan)。文学やオペラ、R.シュトラウスの交響詩と数々の芸術作品の題材にもなった悪のヒーローの華麗なる恋の遍歴と衝撃的な最期を描いた、モーツァルトの人気作。疾走感あふれるストーリーが数々の美しいアリアで飾られ、その劇的でデモニッシュな魅力はモーツァルト作品でも他に類をみません。ジョヴァンニと騎士長の息詰まる対決と、それに続くラストの地獄落ちは圧巻のクライマックスです。アサガロフ演出は主人公を18世紀に実在した色男カサノヴァになぞらえ、舞台をヴェネツィアに移しています。

ウリヴィエーリ、脇園彩、ケルケジ、ガテルなど魅力的なキャストが集結

タイトルロールに迎えるのは、色気ある歌声が魅力的なイタリア人バス、ニコラ・ウリヴィエーリ。対する女性陣には、ミラノ・スカラ座を振り出しにイタリア中の歌劇場を席巻している脇園彩が新国立劇場初登場、フレッシュな美声で急成長中のマリゴーナ・ケルケジなど、伸び盛りの若手が揃いました。レポレッロには、長年世界の主要歌劇場で活躍しているジョヴァンニ・フルラネット、ドン・オッターヴィオは、ベルカントの諸役で注目を集めているファン・フランシスコ・ガテルが登場します。

<「ドン・ジョヴァンニ」あらすじ>

【第1幕】従者レポレッロを引き連れ、夜な夜な女性の家へ忍び込む、稀代の色男ドン・ジョヴァンニ。今宵はドンナ・アンナの部屋へ行くが、彼女の父親である騎士長に見つかって決闘となり騎士長を刺し殺してしまう。アンナは婚約者ドン・オッターヴィオに、犯人を探して復讐してほしいと求める。ジョヴァンニは通りすがりの女性に声をかけるが、それは昔の女ドンナ・エルヴィーラ。彼女はジョヴァンニに捨てられてもまだ彼を愛し、彼を探していたのだ。ジョヴァンニは大慌てで逃げる。後を託されたレポレッロは彼女に、ジョヴァンニはヨーロッパじゅうの2000人も女性と関係しているのだから諦めるよう諭す。村で農夫マゼットと村娘ツェルリーナの結婚式が始まろうというとき、ジョヴァンニが現れて花嫁を誘惑するが、すんでのところでエルヴィーラが止める。アンナは犯人探しの協力をジョヴァンニに求めるが、話すうち彼こそ犯人だと気づく。村人たちを招いてパーティを開くジョヴァンニは上機嫌。そんな彼をアンナたちは追及する。

【第2幕】ジョヴァンニはレポレッロと服を交換して変装し、エルヴィーラの小間使いを誘惑。マゼットと農民たちはジョヴァンニを殺そうとやってくるが、ジョヴァンニ扮するレポレッロに計画を話してしまい、逆に痛めつけられる。彼の服を着たレポレッロは命からがら逃げてきて、ジョヴァンニと落ち合う。すると、騎士長の墓の石像が、戒めの言葉を喋り出す。驚く2人だが、ジョヴァンニは隠せず石像を晚餐に招待する。夜、彼の家に本当に石像がやってきた。石像はジョヴァンニに悔い改めるよう迫るが、彼は拒否。石像はジョヴァンニの手を取って炎の中へ引きずり込み、地獄へと落ちるのだった。

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】カーステン・ヤヌシュケ

Karsten JANUSCHKE

ドイツ出身。ウィーン音楽院で指揮を学ぶ傍ら、ウィーン国立歌劇場で子供オペラのソロ・レペティトゥールと指揮者を務め、アン・デア・ウィーン劇場、パイロイト音楽祭でも指揮者のアシスタントを務めた。2008年にフランクフルト歌劇場の音楽コーチとなった後、カペルマイスターとなり、現在は客演指揮者として同劇場にたびたび登場。『ドン・カルロ』『椿姫』『ラ・ボエーム』『こうもり』『ヘンゼルとグレーテル』などを指揮し、特に『ドン・ジョヴァンニ』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『フィガロの結婚』といったモーツァルト作品で高く評価されている。最近では、フランクフルト歌劇場『デイドとエネアス』『青ひげ公の城』、ヘルマン作曲『Der Mieter』(世界初演)のほか、バイエルン州立歌劇場で『カルメン』『Der Diktator/Der Zerbrochene Krug』、ザンクトマルガレーテン音楽祭『愛の妙薬』を指揮している。MDR交響楽団、ミュンヘン放送管弦楽団、ベートーヴェン・オーケストラ・ボンなどへもデビューしており、オーケストラへの客演も多い。今シーズンは、フランクフルト歌劇場『Lost Highway』(ドイツ初演)を指揮したほか、ブレゲンツ州立劇場『フィデリオ』などの予定がある。新国立劇場初登場。



【演出】グリシャ・アサガロフ

Production: Grischa ASAGAROFF

ドイツのジーゲン生まれ。ミュンヘン大学で音楽と演劇を学ぶ。1966年よりバイエルン州立歌劇場で舞台監督、演出助手の仕事を始め、ドルトムント歌劇場、ライン・ドイツ・オペラなどで助手を務め、ギュンター・レンネルト、ジャン＝ピエール・ボネルなどのもとで研鑽を積みながら国際的な活動をスタート。82年からチューリヒ歌劇場、86年からウィーン国立歌劇場首席演出家を務め、2012年までチューリヒ歌劇場芸術監督。新国立劇場では2004年『カヴァレリア・ルスティカーナ』道化師、06年『イドメネオ』、08、12年『ドン・ジョヴァンニ』の演出を手がけるほか、09年ボネル演出の『チェネレントラ』では、再演演出および演技指導で参加している。



【ドン・ジョヴァンニ】ニコラ・ウリヴィエーリ**Don Giovanni : Nicola ULIVIERI**

イタリア生まれ。ボルツァーノ音楽院に学ぶ。ベルカント歌手として世界中で活躍し、これまでにミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ザルツブルク音楽祭、バルセロナ・リセウ大劇場、マドリッド王立劇場、トリノ王立劇場、ローマ歌劇場、ブリュッセル・モネ劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭、エジンバラ音楽祭、フィレンツェ歌劇場、ボローニャ歌劇場、ワシントン・オペラ、ロサンゼルス・オペラ、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどに出演。レパートリーには『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『ランスへの旅』ドン・プロフォンド、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アルジェのイタリア女』ムスタファ、『清教徒』ジョルジョ、『ノルマ』オロヴェーゾ、『ロメオとジュリエット』ローラン神父などがある。クラウディオ・アバド、ズービン・メータ、ケント・ナガノ、ダニエレ・ガットー、ニコラウス・アーノンクール、アンドラーシュ・シフ、ミケーレ・マリオッティ、ダニエル・ハーディング、ヘスス・ロペス＝コボス、ファビオ・ルイーゼらと共演、ロイヤル・フィル、ミュンヘン・フィル、イスラエル・フィルなどに招かれている。新国立劇場初登場。

**【騎士長】妻屋秀和****Il Commendatore : TSUMAYA Hidekazu**

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994～2001年ライブツィヒ歌劇場、02年～11年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R. シュトラウス等のオペラの主要な役を80役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉦蔵、『リゴレット』スparaフチーレ、『ヴォツェック』医者、『アラベツラ』ヴァルトナー伯爵、『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ばらの騎士』警部、『ラインの黄金』ファフナー、ファゾルト、『ファルスタッフ』ピストーラ、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンドなど出演多数。2017/18シーズンは『アイーダ』ランフィス、『フィデリオ』ロッコに、2018/19シーズンは『ファルスタッフ』ピストーラ、『タンホイザー』領主ヘルマンに出演したほか、『トゥーランドット』ティムールにも出演予定。二期会会員。

**【レポレッロ】ジョヴァンニ・フルラネット****Leporello : Giovanni FURLANETTO**

イタリア生まれ。ヴィチエンツァ・ペドロロ音楽院に学ぶ。1998年にオペラ・フィラデルフィア・ルチアーノ・パヴァロッティ国際声楽コンクールに優勝し、国際的な活躍を始める。その後、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ歌劇場、ザルツブルク音楽祭、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、パリ・オペラ座、シャンゼリゼ劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭、モンテカルロ歌劇場、ジュネーヴ大劇場、ブリュッセル・モネ劇場、バルセロナ・リセウ大劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル、サンタフェ・オペラ、サンフランシスコ・オペラなどに出演している。モーツァルト、ロッシーニ、ドニゼッティを得意とし、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロ、『フィガロの結婚』フィガロ、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『イタリアのトルコ人』セリム、『ドン・パスクワーレ』タイトルロール、『ルチア』ライモンドなどを演じているほか、『アイーダ』ランフィス、『イル・トロヴァトーレ』フェランドなどにもレパートリーを広げている。新国立劇場初登場。

**【ドンナ・アンナ】マリゴナ・ケルケジ****Donna Anna : Marigona QERKEZI**

クロアチア、ザグレブ生まれ。クロアチアおよびロシアより奨学金を獲得、フルート、声楽及びビジネスマネジメントの学位を得る。これまでにスロベニア、クロアチア、マケドニア、モンテネグロ、アルバニア、ロシア、イタリア、トルコ、アメリカで演奏活動をしている。2015年にはイタリア声楽演奏会協会のおマーン・ロイヤルオペラ公演『魔笛』夜の女王でオペラ・デビューを果たす。この他アルバニア、ティラナ国立歌劇場で『フィガロの結婚』伯爵夫人を演じた。レイラ・ゲンチェル・コンクール、ミラノ・スカラ座賞ほか国際コンクールでの受賞歴も多い。最近ではカリアリ歌劇場『ルチア』タイトルロール、ペーザロ・ロッシーニ・オペラフェスティバル『ランスへの旅』モデスティーナ、バルセロナ・リセウ大劇場『ランスへの旅』コルターゼ夫人、バーリ・ペトルツェツリ劇場『ルチア』タイトルロール、『こうもり』ロザリンデなどがある。新国立劇場初登場。

**【ドンナ・エルヴィーラ】脇園 彩****Donna Elvira : WAKIZONO Aya**

東京生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。2011年にマリエッラ・デヴィーアのマスタークラスに参加。13年には「新しい声」コンクールセミファイナリストとなり、また文化庁派遣芸術家在外研修員としてパルマ・ボーイト音楽院に留学。14年にはロッシーニ・オペラ・フェスティバルのアカデミーメンバーとなり『ランスへの旅』メリベア公爵夫人を演じる。14年にはミラノ・スカラ座のアカデミーに参加、『子供のためのチェネレントラ』アンジェリーナでミラノ・スカラ座にデビューした。最近の出演にはミラノ・スカラ座アカデミー、ボローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、トリエステ・ヴェルディ劇場『セビリアの理髪師』ロジーナ、マルティーナ・フランカ音楽祭でのファビオ・ルイーゼ指揮、メルカダント『フランチェスカ・ダ・リミニ』パオロ(世界初演)、カリアリ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・



フェスティバル『試金石』クラリーチェなど、今後の予定にはヴェローナ・フィルハモニコ劇場『フィガロの結婚』ケルビーノ、トリエステ・ヴェルディ劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラなどがある。日本では藤原歌劇団『セビリアの理髪師』ロジーナで鮮烈なデビューを果たした。新国立劇場初登場。

【ドン・オッターヴィオ】ファン・フランシスコ・ガテル**Don Ottavio : Juan Francisco GATELL**

アルゼンチン生まれ。生地の音楽院で学んだ後、マドリッドの音楽院で学ぶ。2004年にカルーソーコンクールに優勝、その後数々のコンクールで優勝している。その後ザルツブルク音楽祭、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル、バルセロナ・リセウ大劇場、ネザーランド・オペラ、ローマ歌劇場、ロサンゼルス・オペラ、ワシントン・オペラ、マドリッド王立劇場、チューリヒ歌劇場、ヴェネツィア・フェニーチェ歌劇場、ブリュッセル・モネ劇場、テアトロ・コロソなどに出演。モーツァルト、ベルカントをレパートリーの中心とし『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・オッターヴィオ』『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、『イドメネオ』イダマンテ、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、『セミラミデ』イドレーノ、『ドン・パスクアーレ』エルネストなどを歌っているほか、『放蕩者のなりゆき』トム・レイクウェル、『ロミオとジュリエット』ティボルトなども歌っている。コンサートでも活躍し、フィレンツェ五月祭音楽祭、ラヴェンナ音楽祭、ザルツブルク音楽祭でリッカルド・ムーティと共演するなど、目覚ましい活躍をしている。CD、DVDも数多い。新国立劇場初登場。

**【ツェルリーナ】九嶋香奈枝****Zerlina : KUSHIMA Kanae**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてミラノに留学。2005年にはギリシャ・アテネにて『魔笛』（ミハエル・ハンペ演出）に招聘され出演。第54回全日本学生音楽コンクール第1位、HIMESコンクール第1位。東京二期会『魔笛』パパゲーナ、『フィガロの結婚』スザンナ、『こうもり』アデーレ、びわ湖ホール『死の都』ユリエッテ、パシフィック・ミュージック・フェスティバル『ナクソス島のアリアドネ』ナヤーデなどに出演している。新国立劇場では『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』バルバリーナおよびスザンナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パルジファル』小姓1、『ジークフリート』森の小鳥、高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』フラスキータ、『コジ・ファン・トゥッテ』（演奏会形式）デスピーナなどに出演。18/19シーズンには『魔笛』パパゲーナにも出演した。二期会会員。



新国立劇場 2018/2019シーズン
 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
 ドン・ジョヴァンニ
 Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni
 全2幕〈イタリア語上演／字幕付〉

【公演日程】2019年5月17日(金)18:30／19日(日)14:00／22日(水)14:00／
 25日(土)14:00／26日(日)14:00(貸切)

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:23,760円・A:19,440円・B:12,960円・C:7,560円・D:4,320円・Z:1,620円

【前売開始】2019年1月5日(土)

指揮……………	カーステン・ヤヌシュケ	ドン・ジョヴァンニ……………	ニコラ・ウリヴィエーリ
Conductor	Karsten JANUSCHKE	Don Giovanni	Nicola ULIVIERI
演出……………	グリシャ・アサガロフ	騎士長……………	妻屋秀和
Production	Grischa ASAGAROFF	Il Commendatore	TSUMAYA Hidekazu
美術・衣裳……………	ルイジ・ペーレゴ	レポレッロ……………	ジョヴァンニ・フルラネット
Set and Costume Design	Luigi PEREGO	Leporello	Giovanni FURLANETTO
照明……………	マーティン・ゲプハルト	ドンナ・アンナ……………	マリゴーナ・ケルケジ
Lighting Design	Martin GEBHARDT	Donna Anna	Marigona QERKEZI
再演出……………	三浦安浩	ドン・オッターヴィオ……………	フアン・フランシスコ・ガテル
Revival Director	MIURA Yasuhiro	Don Ottavio	Juan Francisco GATELL
舞台監督……………	斉藤美穂	ドンナ・エルヴィーラ……………	脇園 彩
Stage Manager	SAITO Miho	Donna Elvira	WAKIZONO Aya
		マゼット……………	久保和範
		Masetto	KUBO Kazunori
		ツェルリーナ……………	九嶋香奈枝
		Zerlina	KUSHIMA Kanae

合唱指揮……………	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱……………	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽……………	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督……………	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

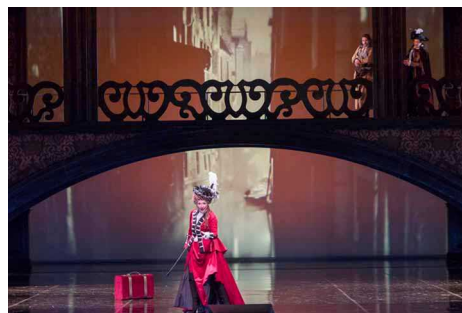
【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

- * Z席 1,620円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。
- * 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

★宣材のご提供について…本演目はレパトリー(再演)公演です。過去の上演の記録写真を宣材としてご提供いたします。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】